

「平成25年度 第3回県政モニターアンケート調査」 調査結果（概要）

県政の課題について、県政モニターの皆様のお考えをお聞きし、県政運営の参考とするために「県政モニターアンケート調査」を行いました。

〔調査内容〕 次の4項目について17問を設定

- ①高齢者の就労・社会参加について
- ②多文化共生社会について
- ③介護マークの認知度について
- ④県職員の姿勢・行動について

〔調査方法〕 ●調査地域 : 長野県全域
 ●調査対象者 : 県政モニター 1,216人
 ●調査方法 : 郵送又はインターネット
 ●調査期間 : 平成25年8月22日(木)～9月2日(月)

〔回収状況〕 回収数 827人 (回収率 68.0%)

回答者の内訳

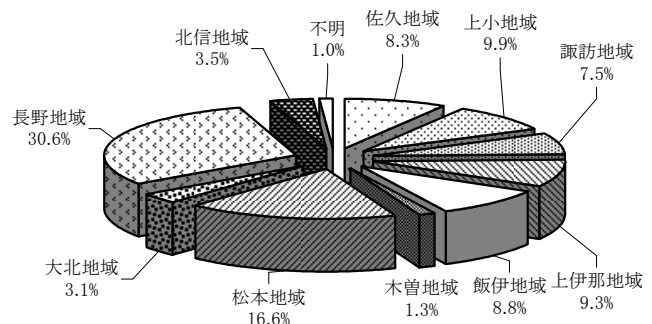
【男女別と年代別】

	総 数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不 明
総 数	827	11	56	124	190	266	172	8
	100.0%	1.3%	6.8%	15.0%	23.0%	32.2%	20.8%	1.0%
男 性	508	6	26	76	107	177	116	—
	61.4%	0.7%	3.1%	9.2%	12.9%	21.4%	14.0%	—
女 性	311	5	30	48	83	89	56	—
	37.6%	0.6%	3.6%	5.8%	10.0%	10.8%	6.8%	—
不 明	8	—	—	—	—	—	—	8
	1.0%	—	—	—	—	—	—	1.0%

※ 割合(%)はすべて、総数(n=827)に対する割合

【地域別】

地 域	調査対象者数	回答者数	割 合
佐久地域	103	69	8.3%
上小地域	108	82	9.9%
諏訪地域	91	62	7.5%
上伊那地域	112	77	9.3%
飯伊地域	112	73	8.8%
木曽地域	17	11	1.3%
松本地域	223	137	16.6%
大北地域	35	26	3.1%
長野地域	366	253	30.6%
北信地域	49	29	3.5%
不 明	—	8	1.0%
合 計	1,216	827	100.0%



1 高齢者の就労・社会参加について

問1 高齢者とするべき年齢

■「70歳以上を高齢者とするべき」が6割弱

①「70歳以上」	56.2 %
②「65歳以上」	23.5 %
③「75歳以上」	15.5 %
④「80歳以上」	2.3 %
	ほか
	(単数回答)

問2 高齢者の社会参加活動推進の必要性

■「必要である」が約9割

①「必要である」	92.4 %
②「わからない」	4.0 %
③「必要でない」	3.3 %
	ほか
	(単数回答)

※以下「社会参加活動」とは、家族以外の他者と一緒に行う活動または、家族以外の他者のために行う活動とし、就業も含めます。

問3 高齢者の社会参加活動の推進が必要だと思う理由

■「健康維持」が9割弱、次いで「コミュニティの活性化」が5割超

①「健康維持」	86.1 %
②「コミュニティの活性化」	55.0 %
③「労働力確保」	46.3 %
④「高齢者・障害者・子育ての支援の担い手」	45.7 %
	ほか
	(問2で「必要である」と答えた方：複数回答)

問4 高齢者の社会参加活動の推進が必要ではないと思う理由

■「退職後まで活動を強いるべきでない」が約8割

①「退職後まで活動を強いるべきでない」	77.8 %
②「個人の自由である」	63.0 %
③「高齢者は支えられるべきである」	7.4 %
	ほか
	(問2で「必要でない」と答えた方：複数回答)

問5 就労希望時期

■「働けるうちはいつまでも」が約3割、次いで「65歳くらいまで」が3割弱

①「働けるうちはいつまでも」	29.4 %
②「65歳くらいまで」	27.3 %
③「70歳くらいまで」	20.3 %
④「75歳くらいまで」	8.0 %
⑤「60歳くらいまで」	7.0 %
	ほか
	(単数回答)

問6 就労希望時期の理由

■「安定した収入を得るため」が3割超、次いで「いきがい・社会参加のため」が約3割

①「安定した収入を得るため」	33.4 %
②「いきがい・社会参加のため」	31.9 %
③「健康維持のため」	15.1 %
④「臨時収入を得るため」	5.9 %
	ほか
	(単数回答)

問7 60歳以上の方における現在の仕事の有無、または仕事をしていた時期

■「現在も仕事をしている」と「働いていた(現在仕事をしていない場合)」がそれぞれ約5割。また、仕事をしていた時期(働いていた年齢)は「60～64歳まで」が最も多い。

①「現在も仕事をしている」	51.6 %
②「働いていた(現在仕事をしていない場合)」	48.4 %
↳ 「働いていた年齢」(現在仕事をしていない場合)(回答内訳)	
①「60～64歳まで」	16.2 %
②「65～69歳まで」	15.8 %
③「70～74歳まで」	5.7 %
④「55～59歳まで」	3.4 %
	ほか
	(回答対象：60歳以上の方)

問8 希望する社会参加活動の形態

■「パート・アルバイト」が3割超、次いで「生涯学習」が約3割

①「パート・アルバイト」	34.2 %
②「生涯学習」	30.4 %
③「有償ボランティア」	29.7 %
④「無償ボランティア」	27.0 %
⑤「正規雇用」	24.9 %
	ほか
	(複数回答)

問9 高齢者の社会参加活動促進に必要な対策

■「長年培った専門的知識や経験を活かせる新たな高齢者の求職支援サービス・マッチング」が6割超

①「長年培った専門的知識や経験を活かせる新たな高齢者の求職支援サービス・マッチング」	62.6 %
②「シルバー人材センターの充実」	48.1 %
③「高齢者の社会参加活動に関する相談・マッチングを一元化した窓口の設置」	47.2 %
④「ボランティア活動情報提供とマッチング」	37.4 %
⑤「健康づくり支援(食育・健康講座等)」	34.0 %
	ほか
	(複数回答)

問10 高齢者の社会参加活動促進のあり方

■「社会参加について」が4割弱

- | | |
|--------------------------------------|--------|
| ①「社会参加について」（若い人達と共に活動することが必要、等） | 37.1 % |
| ②「就業について」（働ける場所等について選択肢の増加を希望、等） | 25.4 % |
| ③「その他」（きめ細かい対策が必要、等） | 12.9 % |
| ④「ボランティアについて」（知識や経験を伝えていける場所が望ましい、等） | 7.5 % |
| | ほか |
- （自由記述：記入者240名・記入率29.0%）

2 多文化共生社会について

問11 日常生活での外国人との関わり

■何らかの関わりが「ある」が約3割

- | | |
|-----------------------------|--------|
| ①「関わりは全くない」 | 35.8 % |
| ②「関わりはほとんどない（顔を知っている程度 等）」 | 34.6 % |
| ③「あいさつする程度の関わりがある（職場の同僚 等）」 | 16.3 % |
| ④「とてもある（友人、知人 等）」 | 11.9 % |
- （単数回答）

問12 外国人とともに暮らす社会

■何らかの理由で「望ましい」が約7割

- | | |
|-------------------------------|--------|
| ①「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるので望ましい」 | 33.6 % |
| ②「地域で外国人と交流できるので望ましい」 | 21.4 % |
| ③「わからない」 | 16.4 % |
| ④「地域の経済的な発展の維持につながり、望ましい」 | 12.6 % |
| | ほか |
- （単数回答）

問13 県や市町村が力を入れるべき取組

■「外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する」が6割超

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| ①「外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する」 | 64.9 % |
| ②「日本人と外国人の交流の場をつくる」 | 45.5 % |
| ③「外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する」 | 43.8 % |
| ④「外国人に対し、日本語の学習を支援する」 | 38.6 % |
| ⑤「日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する」 | 33.1 % |
| ⑥「外国人が地域社会に積極的に参画するよう促す」 | 28.7 % |
| | ほか |
- （複数回答）

3 介護マークの認知度について

[介護マーク]



問14 介護マークの認知度

■「介護マークを知っていた」は約2割

① 「知っていた」	18.3 %
② 「知らなかった」	79.7 %
③ 無回答	2.0 %
(単数回答)	

問15 介護マークのわかりやすさ

■「介護マークを見て何を意味しているかわかった」が8割弱

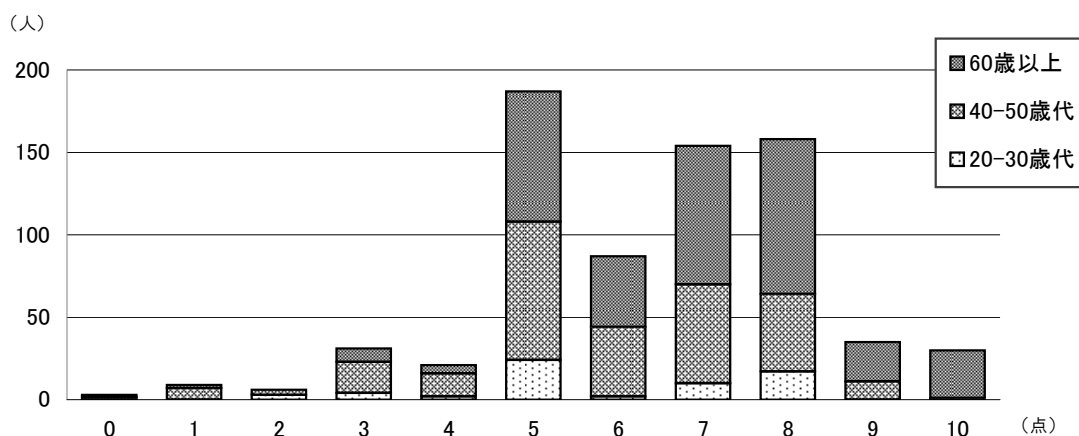
① 「わかった」	76.7 %
② 「わからなかった」	19.9 %
③ 無回答	3.4 %
(単数回答)	

4 県職員の姿勢・行動について

※問16と17は、県が定めた行政経営理念に沿った改革の進捗状況を把握するため、職員の改革に対する姿勢や行動について、10点満点で点数を付けていただきました。

問16 県職員の県民の期待への対応度

■県の職員は「県民の皆様の期待にどの程度応えられているか」との問に対し、平均点は6.5点(前回6.3点)。



問17 県職員の仕事への取組姿勢

■県の職員は「高い志と仕事への情熱を持って職務に取り組んでいるか」との問に対し、平均点は6.4点(前回6.2点)。

